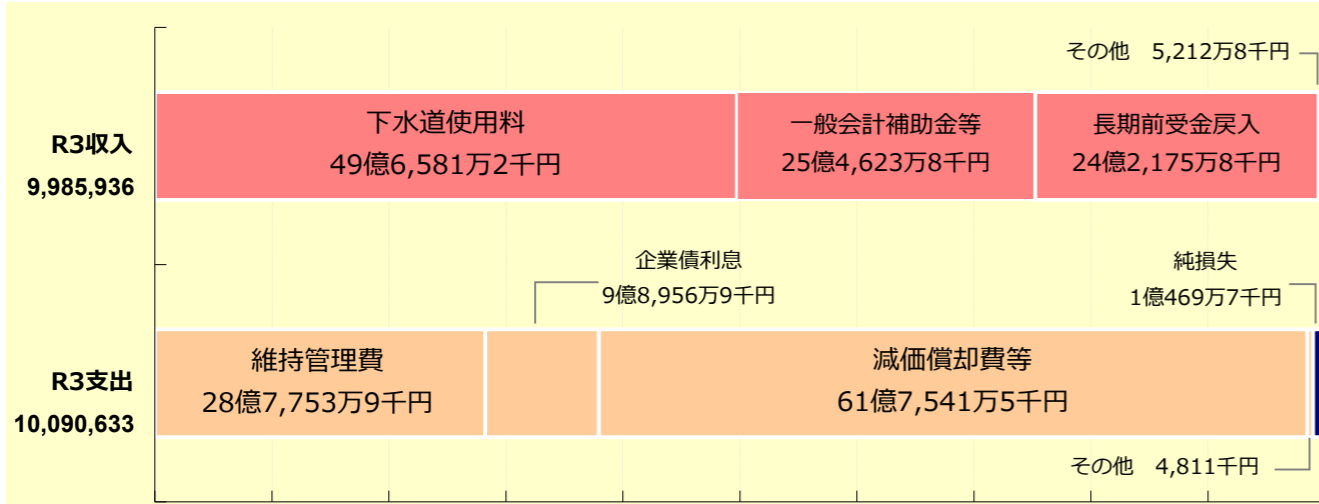


宮崎市上下水道局 令和3年度 決算概要（公共下水道事業）

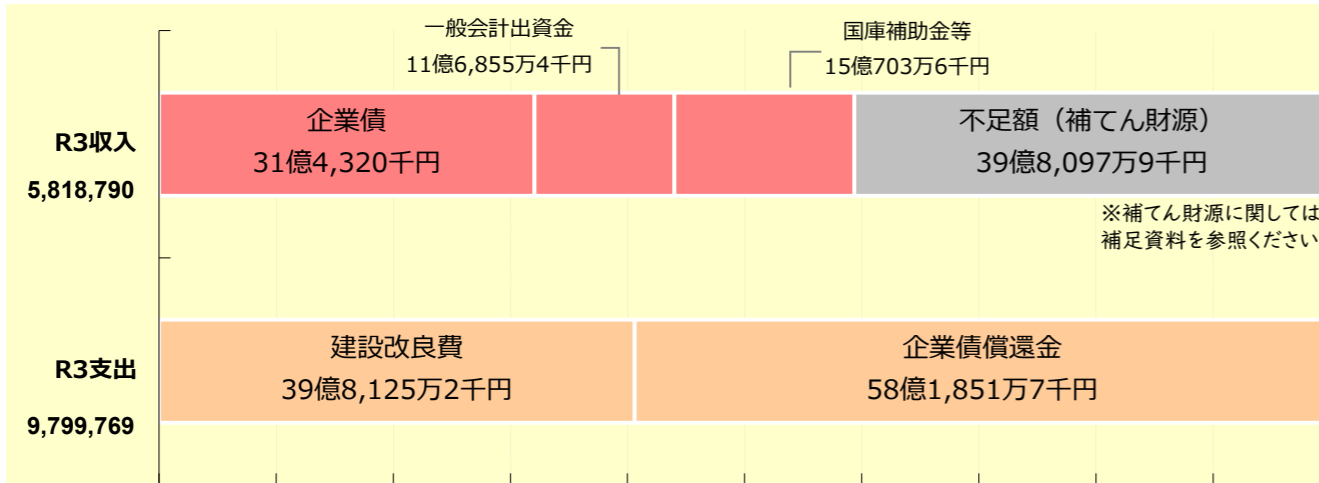
収益的収支（税抜、単位：千円）

< 1年間の企業の経営活動に伴い、発生する収益及び費用 >



資本的収支（税込、単位：千円）

< 施設の建設など支出の効果が次年度以降に及ぶ費用、企業債の元金償還などの支出とその財源となる収入 >

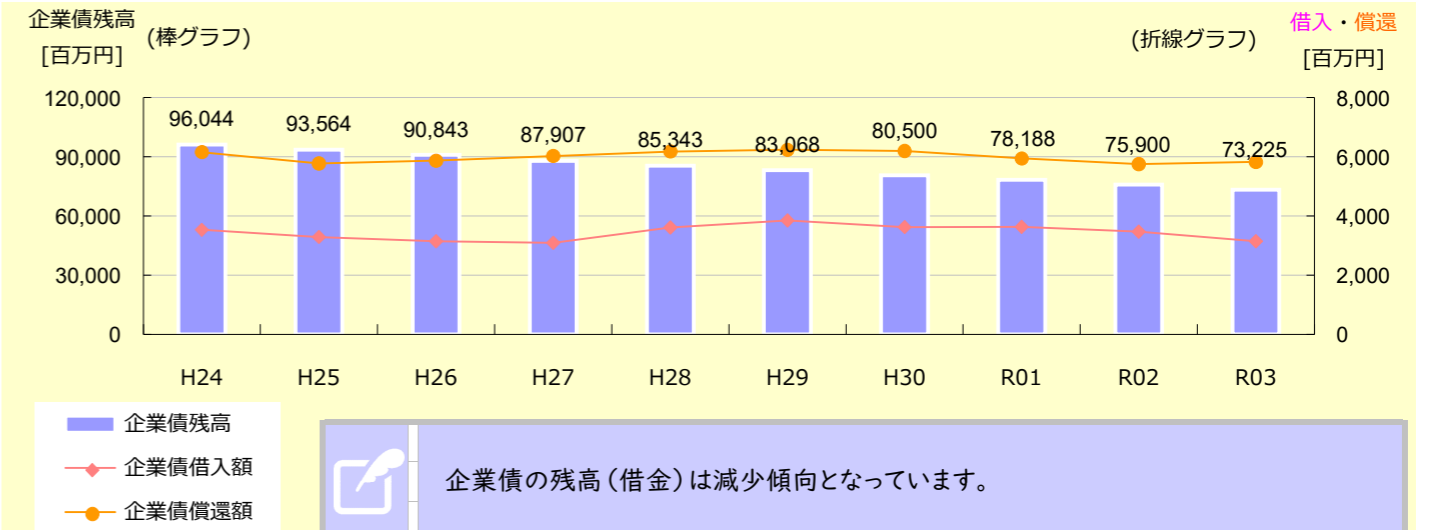


※減価償却費…長年使用する資産の取得費用を耐用年数に応じて費用化したもの
 ※長期前受金戻入…長年使用する資産の取得時に交付された補助金等を減価償却費と同様に収益化したもの

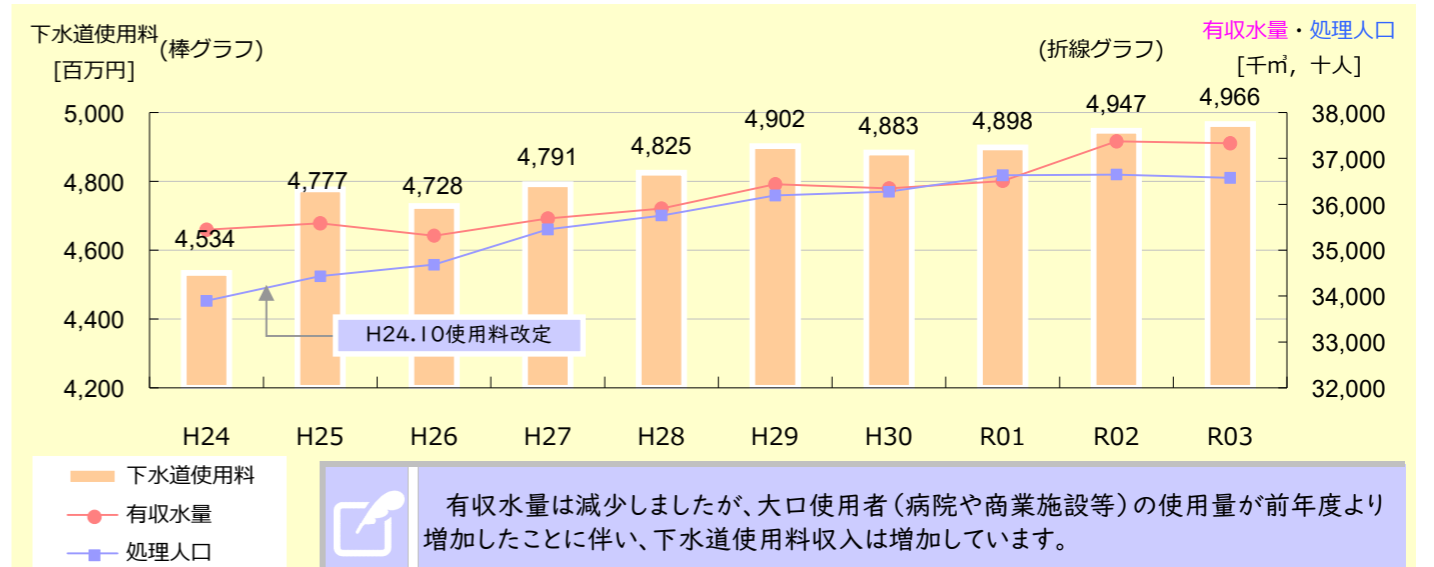
【決算のポイント】

- ・純損失（赤字）1億469万7千円を計上しました。
- ・本年度に生じた純損失につきましては、繰越欠損金として翌年度へ繰り越され、次年度以降に発生する純利益で解消していくこととなります。
- ・下水道使用料が前年度と比較して、約1,869万円の増収となりました。
- ・資本的支出の50%以上が企業債償還金（借金の返済）で占められています。

企業債残高及び企業債償還金の推移（単位：百万円）



下水道使用料収益、有収水量及び処理人口の推移（単位：百万円、千m³、十人）



令和3年度に実施した主な事業

- ①管きょ改築事業（事業費：11億8,094万9千円）
老朽管の長寿命化を図るため、国庫補助事業を活用して管きょの改築に取り組みました。
- ②処理場等施設整備事業（事業費：15億1,787万9千円）
汚水処理機能の向上を図るため、国庫補助事業を活用して設備の設置や改築に取り組みました。
- ③浸水対策事業（事業費：5億3,013万7千円）
浸水被害が発生している地域の被害軽減を図るため、雨水幹線等の整備に取り組みました。